

ヒラメ用抗菌剤（エドワジエラ症）の開発

ヒラメ用抗菌剤（エドワジエラ症）の開発事業共同実施機関
（大分県・共立製薬株式会社）

実証事業の背景と目的

大分県はヒラメ養殖生産量全国1位、全国生産量のシェア3割
ヒラメは海水魚の陸上養殖の先駆的魚種であるが、
近年生産量は減少傾向

ヒラメ養殖では疾病被害が大きいエドワジエラ症の対策が急務

- ・ ヒラメに承認されている本症を対象とした医薬品はなく、治療方法がない
- ・ 当該疾病原因菌で承認されている抗菌剤は、すずき目魚類でホスホマイシンカルシウム、うなぎ目魚類でオキシリン酸等がある。



ヒラメの陸上養殖場

目的

他魚種で承認されている抗菌剤のヒラメへの実用化に取り組み、
生残率の向上による養殖ヒラメの安定生産と収益性向上、生産量増大を目指す

実証事業の概要

ヒラメ用エドワジエラ症抗菌剤としての オキシリン酸の開発

- ✓ ヒラメのエドワジエラ症に対する承認申請（他魚種からの適用拡大）に求められる試験の実施
 - ・ 薬効薬理試験
 - ・ 安全性試験
 - ・ 吸収・排泄試験
 - ・ 残留性試験
 - ・ 養殖現場での臨床試験

- ✓ 動物用医薬品としての承認申請に必要なデータのとりまとめ

- ✓ 農林水産大臣への承認申請

- ✓ 承認取得
- ✓ ヒラメ用エドワジエラ症抗菌剤としてオキシリン酸の販売・普及

ヒラメ用エドワジエラ症抗菌剤としての ホスホマイシンカルシウムの 有効性の確認

- ✓ 薬効薬理等の知見収集

- ✓ 残留性試験の実施

- ✓ 学会等での情報の公表

- ✓ オキシリン酸に加え、ヒラメのエドワジエラ症対策の一つとしての活用をサポートする（獣医師処方時の参考とする等）

本事業計画対象範囲

目標



養殖現場と製薬技術の融合で早急に実現を図る！

生産量日本一の大分県が牽引して
日本のヒラメ養殖業の盛り返しを図る！